

ナシに寄生する薬剤抵抗性ワタアブラムシの効果的な防除薬剤						
[要約] ナシに寄生する薬剤抵抗性のワタアブラムシの防除薬剤としてオリオン水和剤40 1,000倍は速効性, 残効性ともに優れ, その防除効果は高い。						
長崎県果樹試験場・病害虫科	専 門	作物虫害	対 象	果樹類	分類	普 及
平成6年度長崎県果樹試験場業務報告						

[背景・ねらい]

ワタアブラムシは多種類の農作物に寄生しウイルス病の伝播, すず病の発生等の被害を与える。近年, 長崎県下のナシにはワタアブラムシの発生が多く, その被害も増加している。

ワタアブラムシは極めて高度な複合抵抗性を獲得しているため, これに対する有効な薬剤は一部の有機リン剤, カーバメート剤に限られ, 防除対策は非常に困難で苦慮している。

そこでワタアブラムシに対する有効薬剤の探索を行った。

[成果の内容・特徴]

- ①オリオン水和剤40 1,000倍は有機リン剤抵抗性, カーバメート剤抵抗性及び合成ピレスロイド剤抵抗性のワタアブラムシに対しても速効性, 残効性ともに優れ, その防除効果は高い。(表1)
- ②オリオン水和剤はナシでアブラムシ類の防除に使用されている従来の薬剤と作用機作が異なり, ローテーション散布を行う上で有効である。
- ③薬剤感受性のワタアブラムシの他ユキヤナギアブラムシ, ナシアブラムシに対しても防除効果は高く, かつ薬害がなく, 安全に使用できる。(表2、表3)

[成果の活用面・留意点]

- ①オリオン水和剤は高度な複合抵抗性を獲得しているワタアブラムシに対しても防除効果は高いが, 連用することによって抵抗性を発達させることも懸念されるので使用にあたっては作用機作の異なる薬剤とローテーション散布を実施する。

[具体的データ]

表1 ナシの合成ピレスロイド剤抵抗性ワタアブラムシに対する防除効果

供試薬剤	使用濃度 (倍)	散布前 虫数	散布後虫数				薬害
			1日後	3日後	7日後	14日後	
オリオン水和剤40	1,000	1,990	0	1	0	0	-
DDVP乳剤	1,000	1,533	0	10	30	47	-
ペイオフME液剤	1,000	239	168	309	398	219	-
シロフナホソ水和剤	1,000	494	3	0	2	5	-
無散布	-	240	327	683	651	358	

表2 ナシの合成ピレスロイド剤感受性ワタアブラムシに対する防除効果

供試薬剤	使用濃度 (倍)	散布前 虫数	散布後虫数					薬害
			1日後	3日後	7日後	14日後	21日後	
オリオン水和剤40	1,000	693	0	0	1	111	996	-
DDVP乳剤	1,000	663	0	1	2	29	292	-
ペイオフME液剤	1,000	456	0	0	0	2	297	-
シロフナホソ水和剤	1,000	262	3	0	0	32	1,356	-
無散布	-	247	230	386	1,175	4,526	4,138	

表3 ナシのユキヤナギアブラムシに対する防除効果

供試薬剤	使用濃度 (倍)	散布前 虫数	散布後虫数			薬害
			1日後	3日後	7日後	
オリオン水和剤40	1,000	1,064	0	0	5	-
キルハール液剤	1,500	728	0	0	0	-
無散布	-	482	316	345	166	

[その他]

研究課題名：落葉果樹の重要病害虫防除に関する試験

予算区分：委託

研究期間：平成6年度

研究担当者：早田栄一郎，大久保宣雄

既発表論文等：平成6年度 長崎県果樹試験場業務報告

残された問題点：なし